

三原市新児童館 ティーンズ検討委員会 検討結果報告



▶ 三原市児童館の現状

- 0歳～高校生まで利用できるはずなのに
中高生「ティーンズ」の利用がほとんどない…

| | | | |
|--------|--------|---------|----|
| 平成30年度 | 児童館利用者 | 14,814人 | |
| | うち中高生は | … 151人 | 1% |
| 平成31年度 | 児童館利用者 | 13,321人 | |
| | うち中高生は | … 402人 | 3% |

現在の児童館
(城町 市民福祉会館)



▶ 令和2年8月23日(日) 新児童館オープン

三原市の大人は考えた
どういう児童館だったら
中高生が
来てくれるのか…

【コンセプト】

- 中高生が気軽に遊びに来れる場所
- 中高生が活躍できる場所
- 家、学校以外の第3の居場所

▶ 新児童館ティーンズ検討委員会結成（平成31年2月）

そうだ！
中高生に直接聞こう！

ティーンズが

- 直接行政に意見を伝える！
- 行政に本音を話す！
- 行政と一緒に考える！

ティーンズと三原市が “ 一緒に ” 児童館をつくる

- ・ 新児童館ティーンズ検討委員会
令和2年6月現在 中学生4人 高校生10人
- ・ 三原高校2年生「理想の児童館プロジェクト」55人
(令和元年6月～)

▶ これまでの取り組み

- **新児童館ティーンズ検討委員会ミーティング**
平成31年2月～ 10回実施
- **学校の授業 三原高校「総合的な探求の時間」**
“理想の児童館プロジェクト”
令和元年6月～

- ・ 現在の児童館の見学
 - ・ 移転場所やその周辺の見学
 - ・ 他市の事例調査
 - ・ 新児童館の施設や機能の検討
 - ・ 愛称・ロゴマークの検討
 - ・ イベント企画
- etc…



▶ 課題の発見・分析

ティーンズが感じた現児童館の課題 「なぜ中高生の利用が少ないのか」

- 開館時間 10：00～18：00
(10～3月は17：30)
 - 施設が狭い
 - 「児童館」というネーミング
 - 中高生が楽しめそうにない
- etc…



遊戯室



図書室

▶ 改善点・提案

ティーンズが考えた改善点や提案 「中高生の利用を増やすにはどうしたらよいか」

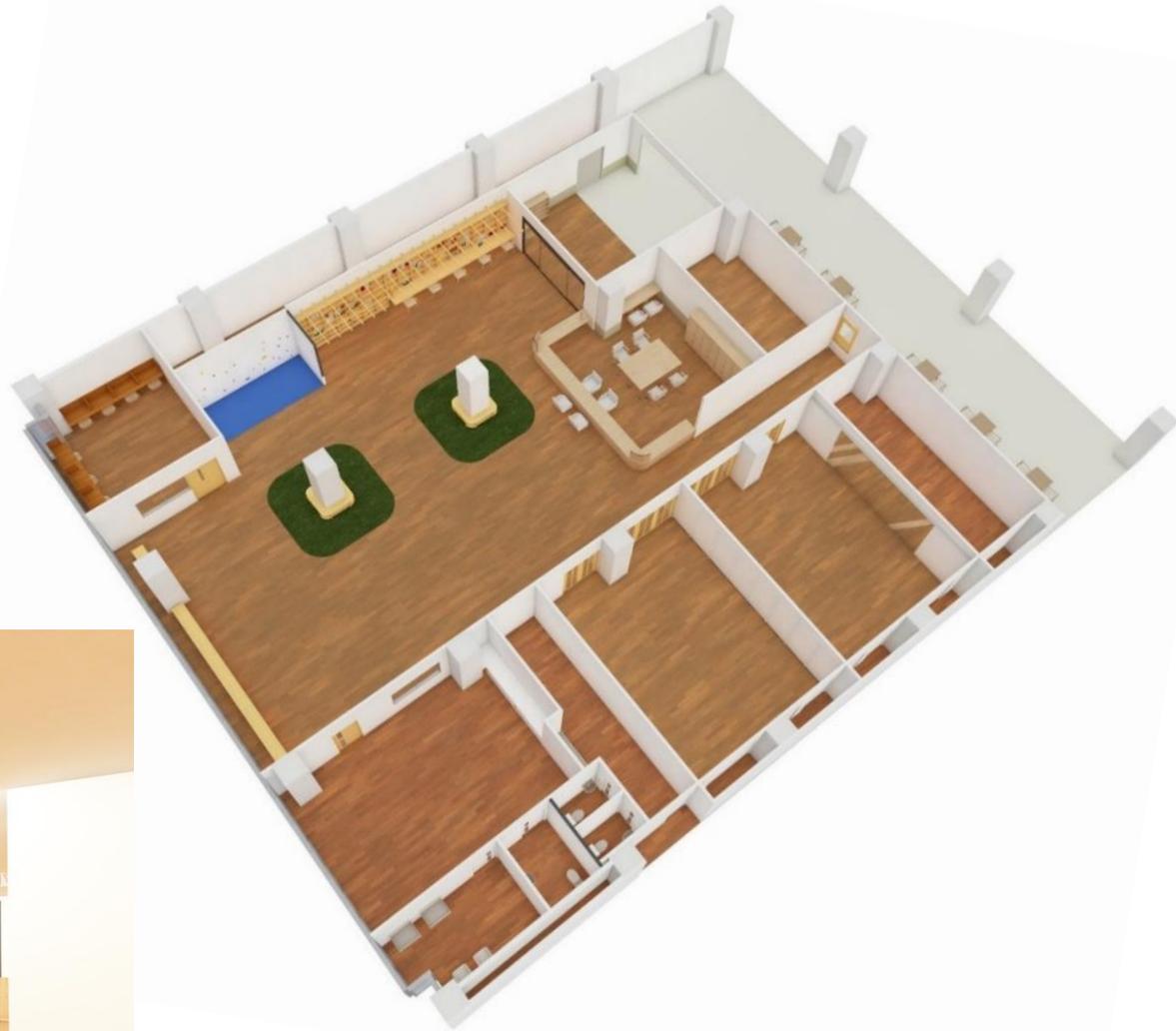
- 開館時間の見直し
- 新児童館の愛称を決めてPRする
- 必要な施設や機能の提案
 - ・ 無料Wi-Fi
 - ・ 中高生が勉強できる部屋
 - ・ 気軽におしゃべりできるスペース
 - ・ ダンスの練習ができる部屋（大型鏡）
 - ・ 赤ちゃんと保護者がゆっくり過ごせる部屋
 - ・ 落ち着いて授乳できる部屋
 - ・ 内装は木を使ったあたたかい雰囲気
- 中高生が楽しめるイベントの開催 etc…

▶ ティーンズの見解やアイデアが新児童館に反映された！

● 新児童館レイアウト



●新児童館パース図



・木を使ったあたたかい雰囲気

▶ 新児童館の愛称・ロゴマークの検討 (令和元年12月～)

新児童館を広く知ってもらい、メッセージ性のあるネーミングをどのようにして決めたらよいかみんなで考えました。

ネーミングのコツを調べたり、身近にあるロゴマークなども参考にしました。



▶ 新児童館の愛称・ロゴマーク

愛称 ラブラブ

「笑う：laugh (ラブ)」と、
「気軽な・気楽な・自然な：ラブな」を合わせた言葉

児童館がみんなの笑顔が集まる場所になるように
気軽に行ける自由な居場所になるように
との願いを込めています。

【愛称】

中高生が考えた全40案の中から、委員会メンバーの投票により決定しました。

【ロゴマーク】

自分たちが考えた50以上のイラストやデザイン、そこに込められた意味や思いをデザイナーに伝え、作成をお願いしました。

▶ ロゴマーク



【ロゴマークの意味】

- “笑顔の口”をモチーフにしたロゴマーク
- 3つの口のマークで、ラフラフの「ラ」と、三原の「三」を表現
- 3つの口のマークの大きさに、乳幼児、小学生、中高生、保護者という「みんなの笑顔が集まる場所」となることを表現
- ラフラフの文字を繋がった笑顔の顔にすることで、「友だちづくり、親子のふれあいの場、交流の場」となることを表現

▶ 児童館を盛り上げる！ティーンズも楽しむ！

- ティーンズが主催したイベントの開催
- ティーンズが頑張っていること，得意なことを児童館で披露



子ども対象イベントの企画・運営



高校生トークショー



小学生対象イベント

高校生演劇部
“観劇会”



中学生吹奏楽
グループ
“クリスマス
コンサート”

● 児童館でボランティア活動



サンタ&トナカイ（中学生）



高校生と一緒に！クッキング&勉強会



WEB版じどうかんだより「おうちにいってもじどうかん」
(令和2年5月)



絵本の読み語り（高校生）

▶ いま、ティーンズが伝えたいこと

- 若い世代の声を直接行政に届ける機会を他にもつくて！
- ラブラブを利用した子ども達が
大人になったとき
思い出してもらえる場所に！
- 親になったとき
我が子を連れて再び戻って来たいと思える場所に！
- 多くの人に認知され、みんなから
愛され続ける場所に！

